主 の 祈 り　　(93-5A)

天にます　われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり　　アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は，主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し，この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は，希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。

日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854　石巻市大街道北２丁目１２－３
電話／FAX：0225-22-4090
ホームページ：http://tohoku.uccj.jp/i-eikou
メール：i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座：02280-8-2810
教会創立：1887年9月25日

集 会 案 内

聖　日　礼　拝	毎週日曜日	午前10：30
早　朝　礼　拝	毎週日曜日	午前 7：30
交 わ り の 会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後 7：30

2024年度標語　『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
◎ 平和を創り出すために働きましょう。

№2493

主日礼拝式順序

2025年10月5日

受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。

前　　奏		
招きの言葉	［1］詩編第100編1～2節	司会者
讃　美　歌	34	一　同
子どもたちへの話		
祈　　り		司会者
聖　　書	詩篇１４５編１５節 （旧約聖書９８６ページ）	
讃　美　歌	361（1～2節）	一　同
お　　話	「全ての者に　食料を」	川上直哉 牧師
讃　美　歌	361（3～4節）	一　同
献　　金		一　同
報　　告		司会者
讃　美　歌	90（4節）	一　同
祝福の祈り		
後　　奏		

＊当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
＊旧約聖書は前半（P.1502まで）、新約聖書はその後ろです。
＊献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

10月26日（日）は、日本基督教団東北教区宮城北地区デーです。
この日の礼拝献金は、教区の宣教共働連帯献金として捧げられます。

9月3日に、礼拝堂屋根・外壁補修の支援として、
日本基督教団東北教区宣教共働委員会より957,100円の支援金が譜込まれました。

∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞

☆「御言葉と祈りの時」　10月1日（水）19:30～　オンライン併用
☆「読書会と聖餐式」　10月9日（木）10:00～　オンライン併用

∞∞∞ 次週の予告（10/12）∞∞∞

☆ 主日礼拝（お話：川上直哉 牧師）

［聖　書］	第一ヨハネ5:4
［お　話］	「世に勝つ勝利」
［讃美歌］	38　419　91　　［招きの言葉］ 1
受　付 奏　楽	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。

次週礼拝後、役員会を行います。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

✤今後の予定は以下の通りです

- 10月5日（日）日本基督教団柴宿教会 礼拝担当
- 10月19日（日）日本基督教団涌谷教会 礼拝担当（14時から）
  ※12日の予定でしたが、この日に変更となりました。
- 10月26日（日）中澤先生が10時半からの礼拝を担当
- 11月2日（日）永眠者記念礼拝・墓前礼拝
- 11月9日（日）礼拝堂で聖餐式

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	10人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	2人	聖餐式	－

月定献金		特別献金
		永眠者記念・召天記念　石井出一（石井龍子）
席上献金	¥16,800	

週報別冊

2025年10月9日号

1．教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団石巻栄光教会関係】

- **「仙台青年」（仙台 YMCA）**：教会の園舎をご活用下さっている、「青少年の健全な育成」を目指して今年120周年を迎えているキリスト教団体からの通信です。

【日本基督教団・東北教区関係】

- **「日本基督教団教師検定試験のお知らせ」（東北教区総会議長荒井偉作）**：10月31日締め切りで、教師検定試験のための常置委員会面接の受付をする旨の連絡を頂きました。

- **「教団新報」（日本基督教団）**：今年の7月に8人の青年が日本基督教団台湾協約委員会からの派遣として研修旅行に行ったことの報告「フォルモサの叫び声」等が掲載されています。

- **「教団ジャーナル 風」**：各教区からの総会報告と、奥羽教区・東京教区・沖縄教区の総会議長による「私たちの教区」等が掲載されています。

- **「新会堂 建築献金のお知らせ」（日本基督教団夙川東教会）**：「1959年、関西学院大学の宣教師による家庭集会から始まった教会」が「築６０年を超す会堂の建て替え」を行うべく、1億600万円の予算で、「300万円」の外部献金を求める趣意書を、お送りいただきました。

- **「学校案内」「基礎科で一緒に学びませんか」（日本聖書神学校）**：東京にある夜間神学校からのお知らせを頂きました。

【その他教会・団体関係】

- **「FEBC１５６６」（キリスト教放送局 FEBC）**：1998年からウクライナで宣教師をしている船越真人牧師のインタビュー「土の器に抱く 人間の罪の現実の中で」等が掲載されています。

２．牧師動静

９月２９日（月）・３０日（火）

午前中、休暇をいただき、午後、教会で執務しました。

１０月１日（水）

ｵﾝﾗｲﾝでいつも参加される佐野さんを、朝、石巻にお迎えして接遇し、午後、十三浜で「キリシタン」読書会を主宰し、夜、祈祷会を主宰しました。

１０月２日（木）～４日（土）

２日に富谷の日本キリスト教 富谷教会で葬儀に出席し、その後、愛知で行われた「全国かくれキリシタン研究会」の全国大会に出席しました。

- 29日には佐山さんから「お花」が届き、１日には佐野さんが石巻にお越しになって「キリシタン」読書会と祈祷会に出席くださいました。お二人共、いつもオンラインで参加される方々です。神さまが結び合わせてくださる繋がりに、感謝を深めています。

- 本日、柴宿教会で礼拝をいたします。聖餐式もあります。どうぞ、ご参加くださいます方は、お知らせください。

１０月６日（月）～７日（火）

「日本聖書神学校 同窓会 東北支部宿泊研修会」に講師として出席します。

１０月８日（水）

日中、教会で執務し、夜、祈祷会を主宰します。

１０月９日（木）

午前中、一件の訪問をして読書会と聖餐式を行い、午後、福島県キリスト教連絡会放射能問題学習会で報告をし、夜、仙台で合唱団「コロ支倉」の練習に出席します。

１０月１０日（金）

午後、東北学院大学で会議をした後、日本倫理学会のシンポジウムに登壇します。

１０月１１日（土）

休暇をいただきます。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。

2025.10 増刊号 FEBC1566
2025年10月1日発行定価100円
1987年3月5日第三種郵便物認可

FEBC特別番組

父、子、聖霊なる神の交わり、その似姿への回復 ―正教会の信仰と霊性（再）

ゲオルギイ松島雄一　日本正教会 大阪ハリストス正教会管轄司祭

毎週水曜日夜9時47分から、22分間
10月1、8、15、22、29日

2025年10月1日発行　FEBC増刊号　第三種郵便物承認

キリストによって人とモノが救われた世界というのは、正教会の礼拝に溢れています。イコンが描かれ、良い香りのする乳香があり、聖歌が耳に響きわたってきます。そしてなんと言っても、そこで分かち合われるパンとぶどう酒は、神の御身体と血です。モノの世界がもう一度、感謝と喜びの内に、神様の愛の贈り物として分かち合われているのが教会なのです。頭でっかちでバランスを失ってしまった現代社会にあっては、今までお話したことは非近代的で迷信的と思われるかもしれません。でも、私は胸を張って言います。ここにこそイエスにおいて神が人となったことの真の意味があると。

キリスト教というのは、既に申しましたように使徒達からのキリスト体験の受け渡し、つまり「伝承」です。私は青春時代に祖父が信徒であった正教会に行くようになりました。正教会の聖体礼儀の中では、聖変化（パンとぶどう酒がキリストの体と血になる）の祈りの絶頂の時、土下座します。しかし、その当時私は「まだ信じてないから」とそれを拒否していた。それでも「いっぺんやってみるか」と土下座してみた時に、自分の心の中の冷たく固いものが、一挙にドッと溶けていく気がして涙が出てたまらない体験をしました。それまでの私は、喩えて言うなら研究も計画も実行もフィードバックもするけれども、なぜそれをしているか分からないような、信仰で言えば祈るということがない信仰、そんな生き方だったんです。しかしそれが、正教会の祈りの空間の中で一挙に溶け落ちた。私も教会の交わりの中でキリスト体験を受け渡していただいたんです。

（文責・月刊誌編集部）

【お知らせ】2025年12月3日より、ゲオルギイ松島雄一神父様によるニケア信経の講話が新番組として放送開始の予定です。どうぞご期待ください。

キリスト教放送局 日本FEBC
AMラジオ放送　AM1566kHz　毎夜9:30～
インターネット放送　www.febcjp.com